

## カポックの育て方

室内を飾る植物として広く普及し、親しまれているカポック<sup>※</sup>は、正しくはシェフレラ・アクティフィラと言うウコギ科の植物で、東南アジアが原産地です。性質がたいへん丈夫で、比較的寒さにも耐え育てやすい観葉植物です。

### 年間管理

	生育期(5~10月)	休眠期(11~4月)
置き場	戸外をよく日が当たるところ (真夏は約30%遮光)	室内、ガラス越しの日がよく当たるところ (冬の最低温度5℃前後)
水やり	毎日たっぷり与える	やや乾き気味にする。とくに冬は水を控える
肥料	月1回油カスまたは 週1回液体肥料を与える	10~15日に1回液体肥料を与える

**植え替え** 生育が旺盛で、根が鉢いっぱいになりやすいので、毎年または2年に1度植え替えが必要です。

**適期** 5~9月

**用土** 土の種類は選びませんが、水はけと水もちがよいものを用います。

例) 赤玉土7 : 腐葉土3

**方法** 古い根鉢の外側約 $\frac{1}{3}$ の土を落し、長く伸びた根を切ります。

### 仕立て替えとふやし方

幹が伸び丈が高くなりすぎたり、下葉が落ちたものは、さし木や取り木を行って仕立て替えます。

**さし木** 適期は5~8月で、茎の先から15~20cmの長さに切り取った穂木をバークミキュライトや水ゴケにさします。

**取り木** 適期4~6月(図参照)

### 害虫防除

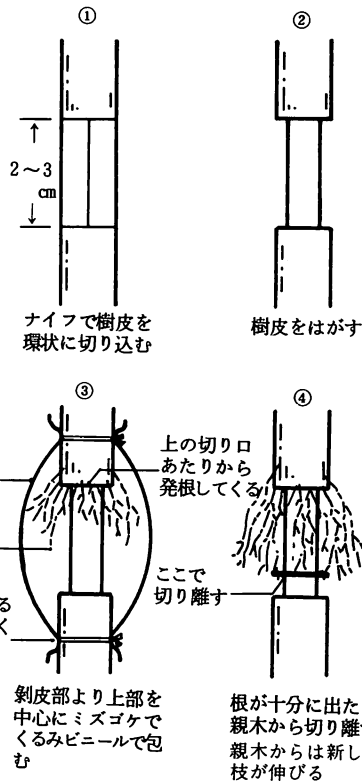
カイガラムシ：綿棒や歯ブラシで取り除き、6~8月の間10~15日に1回、スミチオンを散布します。

ハダニ：葉裏から勢いよく水をかけるか、殺ダニ剤(ケルセン、アカール)を散布します。

### 栽培のポイント

1. 生育期に十分日光と風に当てる。
2. 肥料切れさせない。
3. 毎年~2年に1回は必ず植え替える。
4. 冬は室内のよく日の当たるところに置く。
5. 冬の水やりは、控えめにし、鉢土の表面が乾いてから次の水やりをする。

※カポック(カポックノキ)とは、別種のキワタ科のパンヤ(*Ceiba pentandra*)の和名です。



### 取り木の仕方